

御意見ありがとうございます。

今回頂いた貴重なご意見につきましては、今後の参考とさせていただくとともに、有識者会議へ諮り協議を行ったうえで、必要に応じて総合戦略へ反映いたします。

御意見の概要	宇城市の考え方
<p>【1ページ22行目】</p> <p>(2) 戦略の位置づけに関して、総合計画、観光振興戦略、グランドデザイン、復興まちづくり計画、地域公共交通網形成計画等の他の計画との関連性をわかりやすく図式化すべき。</p> <p>【5ページ】</p> <p>「宇城市の主な経済・社会変化の状況」について、作成中ということで、どのような内容なのか確認できない。平成28年1月に策定した総合戦略の振り返りを行う上では、大切な項目であると思うので、パブリックコメントの段階で、意見を求めるにあたり、記載すべき。第2期総合戦略を策定する上で、検証される内容であるため、取り急ぎHPへの掲載を期待する。その上でパブリックコメントを求めるべき。</p> <p>【6ページ22行目】</p> <p>「ひとの創生」の項目について、■県外転出超過の減少▲80人/年とあるが、平成28年1月に策定された総合戦略では、（H23年～H26年の平均）とある。省略せず記載するほうが丁寧。29行目の「まちの創生」の項目■社会動態の改善も同様。</p> <p>また、「ひとの創生」の項目では、■移住者数200人/5年の目標が掲げてあったが、結果どうだったのか？目標として掲げてあるものなので、結果は掲載されるべき。</p>	<p>市の各種計画は多岐にわたっており、全てを記載すると複雑になるため作成していません。今後、有識者会議に諮りながら検討いたします。</p> <p>主な経済・社会変化については、今後、開催できるようになり次第有識者会議へ諮り、必要に応じて総合戦略に反映いたします。</p> <p>御指摘のとおり修正しました。</p> <p>「ひとの創生」項目の「移住者数200人/5年」を年度ごとに振り分けたのが「県外転出超過の減少▲40人/年」です。</p> <p>次の行の「★直近実績値 ▲35人/年」がその結果です。</p>

御意見の概要	宇城市の考え方
<p>【7ページ1行目】</p> <p>「◆アクションプランに対するKPI達成状況」について。「しごとの創生」「ひとの創生」「まちの創生」について、目標値を上回るか下回るかの指標数と達成率を記載されているが、第1期総合戦略の評価として大切な箇所なので、個別に指標達成状況を見せるべき。また、「しごとの創生」においては「把握できない」指標が2つあるとのことだが、KPIは数値評価できる指標を設定すべきなので、なぜ把握できないという結果になるのかが疑問。きちんと説明が必要。</p> <p>【7ページ11行目】</p> <p>「◆KPI達成状況からの分析」について。「3つの柱ごとの基本目標の達成状況を踏まえると、概ね順調に進捗している」とあるが、「アクションプランに対するKPI達成状況」は、全体的に達成率50%を割り込む結果となっている。第1期総合戦略の5か年を100%として、評価されるべきなので、これを概ね順調という評価をするのはあまりに楽観的ではないか。今回の問題点・要因を分析し、第2期総合戦略の方向性・課題への対応策を計画となるのではないか。</p> <p>【7ページ16行目・22行目】</p> <p>(4) 成果と課題について、これまでの施策の検証が不十分。特に地方創生推進交付金等を活用した施策については、何が成功し、何が失敗したのか事業ごとに総括し、課題の検証結果を簡潔に明記すべきではないか。同様に「いずれも、……徐々に成果を出しつつあります。」と明記されているが、具体的な成果が不明確。第1期戦略の全22事業を実施した結果どのようなKPIとなり、そのような成果を上げたのか（上げてないのか）具体的に明記すべき。</p>	<p>「しごとの創生」における「把握できない」指標2つに関しましては、KPIに設定している国の統計調査の数値がまだ公表されていません。</p> <p>今回の総合戦略策定は、切れ目なく地方創生を推進するため年度内に策定を進めています。今後、統計調査の結果が発表され次第有識者会議に諮り、総合戦略への反映を検討します。</p> <p>第1期戦略については、計画期間が始まったH28年4月に熊本地震が発生し、地震からの復旧・復興を優先的に進める必要があったことから、各事業の実質的な実施期間は概ね2年間でした。その点を考慮すると、「アクションプランに対するKPI達成状況」は、2年間で約50%の達成状況です。</p> <p>また、6ページの「3つの柱ごとの基本目標に対するKPI達成状況」では、それぞれ目標値を達成していますので、概ね順調に進捗しているという評価に至りました。</p> <p>各施策の取組期間は今年度末までとなっており、まだ最終結果が取りまとまっていないものもあります。また、上記のとおり実質的な取組期間が概ね2年間だったため、各施策は取組の半ばと考えています。そのため、第2期総合戦略では、第1期の基本理念を引き継ぎ、各施策に引き続き取り組んでいきます。</p>

御意見の概要	宇城市の考え方
<p><b>【8ページ】</b> 第2期総合戦略の全体像が分かりにくい。 基本理念や基本目標を8ページにまとめて柱立てしてはどうか。</p> <p><b>【9ページ1行目】</b> (3) 地方創生SDGsは(3)と新しく項目を立てるのではなく、(2) (未来を拓く新たな視点) の4つの◎が相応しいのではないか。</p> <p><b>【12ページ以降】</b> 基本目標や方向性は示されているが、抽象的な表現にとどまっており、それを実現するための具体的な施策、KPI、担当部署を明記する必要があるのではないか。(関連施策として事務事業名を記載されているが、具体的に何を実施するか不明)</p> <p><b>【12ページ】</b> (1) 子育て支援・児童福祉の充実について。関連計画に「すこやか宇城っ子プラン、」とあるが「、」が誤記と思われる。(20ページも同様)</p> <p><b>【13ページ】</b> (1) 生涯を通じた健康づくりについて。関連計画に「保険事業実施計画、特定健康診査等実施計画、高齢者保険福祉計画など」とある。まず、「保険事業実施計画」は何を指しているのか。また、「高齢者保険福祉計画」は「高齢者保健福祉計画」。</p>	<p>全体像は、概要版に記載していますので、御参照ください。</p> <p>御意見のとおりSDGsも「未来を拓く新たな視点」ではありますが、SDGsは国際的な取り組みであり、今後地方自治体としても地方創生の枠を超えて取り組んでいくべき課題であるため、項目を立てて詳しく記載しています。</p> <p>具体的な施策、KPIの設定等は、10ページに記載しているとおりトータルシステムを導入して実施しますので、戦略上での記載は考えておりません。</p> <p>「すこやか宇城っ子プラン」の後に、関連計画を追加しました。</p> <p>誤記を訂正しました。 ※「保険事業実施計画」は、「保健事業実施計画」。「高齢者保険福祉計画」は、「高齢者保健福祉計画」でした。</p>

御意見の概要	宇城市の考え方
<p>【20ページ13行目】</p> <p>「(II) シティプロモーションの推進」について。本戦略では、「子育て世代」や「今後子育てする世代」～定住人口増加をアクションプランとして位置づけられている。とても素晴らしいものだと感じており、大変期待している。ただ、先日第2期すこやか宇城っ子プランでは、宇城市全体の人口現状（子育て世代の減少）に伴い、保育の量は充足しており、「今後も足りる」「維持する」という評価だった。残念ながら、総合戦略との整合性に欠けると言わざるを得ない。宇城市庁内での横断的な意識の統一がまずもって必要ではないか。宇城市民として、UKINISUMが素晴らしい形に具現化されることを期待している。</p> <p>【21ページ】</p> <p>横断的な取り組みとして、「民間企業との連携強化」を明記すべき。横断的取組(1) Society 5.0には民間企業との連携が明記されているが、その他にも観光、まちづくり、経済、教育分野等は、市内外の民間企業やNPO、社団法人との連携や協働なくして推進できないのではないかと。特にこれまで宇城市と連携協定を締結した企業や誘致企業との連携を強化すべき。</p>	<p>「すこやか宇城っ子プラン」では、現状を分析して保育量が充足していると判断しているものであり、今後総合戦略の取組による児童数の変化に応じて、計画の再検討を行う必要があると考えています。</p> <p>民間企業との連携強化は、総合戦略に取り組むうえで大変重要です。そのため、8ページの基本理念に「(総合戦略の基本理念を) 市民や企業、団体等と共有して官民一体となって」地方創生を推進することを明記しています。</p> <p>横断的な取組には、市外在住者や、市外の企業・教育機関等との連携を想定して記載しています。</p>